

# 曹青かわら版

平成二十五年後期号

平成 26 年 3 月 13 日  
山口県曹洞宗青年会  
会長 清木隆法



磯部副会長を先頭に徳山駅周辺にて托鉢する様子(関連 3 ページ)

## 浄土宗青年会 合同涅槃会

2月25日(火)、山口市禅昌寺様を会場に、県内浄土宗青年会 11名(以下：浄青)と合同で涅槃会を行いました。

始めに開講式、坐禅、午後からは、涅槃会法要、山口県立大学国際文化学部教授鈴木隆泰先生による講演、懇親会を行いました。

### ◆坐禅

山口市長徳寺ご住職河谷正也老師に坐禅指導をしていただきました。

河谷老師は曹洞宗の坐禅とは、何か結果を求めて行うことではなく、ただ坐るのが目的と説かれました。

「道元禪師は『普勸坐禅儀』の中で坐禅は無我の象徴であり、自己を忘れよと仰っています。やることを一



河谷老師による坐禅指導

生懸命にやるのが無我であり、やり切ったと思つたときは多分やり切っていない。本当にやり切つた時には、きつと物足りなさを感じているはず。

修行は足りる足りないではなく、今やるかやらないか。坐禅は坐禅の為に坐禅するものです。」

### ◆涅槃会法要

導師を清木会長、維那を磯部副会長が務め、浄青の



出班焼香



浄青の方々と共に坐禅



浄青の方々と記念撮影



涅槃会法要

方々には西の室中に随喜していただきました。  
 寿量品偈にて遶行、浄青の方々にも焼香していただきました。

◆講演

山口県立大学国際文化学部教授鈴木隆泰先生に「釈尊は死なず、そして消え去りもせず―釈尊涅槃会によせて―」と題した講演を行っていただきました。

「輪廻転生を常とするインドでは個人の出生を記録することは無く、歴史上の釈尊の記録が残っているのは稀なことです。」  
 「法華経の如来寿量品には、無上菩提を得て涅槃(Nirvana: 吹き消された状態。)に至った釈尊は不死の状態であり、生まれてこないし死にもしません。釈尊は法身です。」

「阿弥陀仏、薬師如来、大日如来といった釈尊以外の諸仏は釈尊とは違うかと言われれば、全く同じであり、超越した存在は視る事が出来ないのです。」

「釈尊は真理(adhigamadharmā)を悟って衆生を救うために法(desanadharmā)を説きました。真理は言葉で説明出来ないが、真理に至る手段を教えとしてなら授ける事が出来ます。」

例えるなら、真理は健康で、法が治療です。その処方箋は人によって異なります。キリスト教などは言葉は神であり絶対である。ゆえに教えに対して人の方が合わせる。仏教は逆です。人に教えを合わせるのです。」  
 「仏教において、衆生を無上菩提へと導く教え(善巧方便)であれば、それは誰が説こうと全て釈尊の直説です。」

### 弁道会

「法華経について」

平成 25 年 9 月 27 日(金)、禅昌寺様を会場に、弁道会を行いました。

山口県立大学教授鈴木隆泰先生を講師にお迎えし、「法華経」について講演していただきました。

前提として、インドでは古来より輪廻転生の思想に基づいており、それを脱し涅槃に至るのが至上だと考えられています。それを踏まえた上で、

「仏教において釈尊は永遠の存在であり、教えが説かれる限り、言葉として存在し続ける。

#### ●補足

阿羅漢…布施をするにふさわしい人物。応供。

福田思想…立派な宗教者に布施をする(田に種を蒔く)と功德が貰える(実が生る)という考え。



鈴木先生による“法華経”の講義

それを伝える僧も尊ぶべき存在であり、三宝として敬われます。小乗は『阿羅漢でいいや』とする考え。大乘は『阿羅漢は種を焼き尽くした人間』と小乗を非難する考え。法華経を作った人は、大乘の考えもまたどうかと思いました。

執着のあまり小乗大乘に分かれた仏教を、仏道修行のゴールは一緒であり、目指すのは成仏である。仏教の出発点に立ち返る為に作られたものが法華経です。」

### 「寒行托鉢」

平成 25 年 12 月 22 日(日)、周南市徳山駅周辺において、多くの人出が見込まれる「周南冬のツリー祭」に合わせて寒行托鉢を行いました。

午後 3 時に周南市慈福寺様に集合。準備を整え 4 時前に出発。OB・徒弟さんを含めて 17 名が参加。途中休憩を挿んで 6 時頃まで活動しました。



ツリー祭の日は多くの人出に賑う

### 「正法眼蔵 “現成公案”」

3 月 7 日(金)、禅昌寺様において弁道会を行いました。講師に山口市仁平寺ご住職田中大道老師をお迎えし、正法眼蔵「現成公案」について、

「これまでの正法眼蔵の解説本は江戸時代の朱子学の影響を受けており、グローバリズムの世の中で価値観が多様化している現在においては共通の問題があると考えた方が良いでしょう。」と前提した上で解説していただきました。



田中老師による“現成公案”の解説

### 寺庭婦人セミナー

平成 25 年 10 月 28 日(月)、山口市龍福寺様を会場に、寺庭婦人セミナーを行いました。

始めに開講式、次いで、「お寺のプリザーブドフラワー教室 h anasuzu」主宰・いとうみき先生(下関市耕雲寺寺族)によるプリザーブドフラワー実演、昼食を挿んで、午後からは日本画家・馬場良治氏による講演を行いました。



開講式



いとう先生による作例

ツイステイングメソッド(以下メソッド)と呼ばれるワイヤーをU字型に折り曲げて小花の茎に沿わせて、メソッドの一本をもう一本のメソッドと茎を合わせるように巻いていきます。

フローラルテープ(以下テープ)と呼ばれる緑色の伸縮性のあるテープを、メソッドを施した小花にこより状に巻いていきます。

#### ◆プリザーブドフラワー

プリザーブドフラワーとは、生花を特殊液に浸けて水分を除いたもの。水を与える必要が無く、長期的に保存できるようにしたものです。但し、その加工には時間を要するので今回は加工済みのものを用い、そのアレンジメントを行いました。

フォームと呼ばれる土台にこけを、土台に沿って敷き詰めて、ピンで固定します。



丁寧に飾り着ける清木会長

葉蘭模様の入ったリーフリボンの長辺の一边を中央に寄せて扇型にし、小花同様メソッドとテープを施します。  
フォームに小花・リーフリボンを各々のセンスで盛り付けて完成。

寺族さんたちと制作に参加した清木会長と森江副会長は各自の作品を手にして、重要文化財である龍福寺法堂にて記念撮影を行いました。



いとう先生による熱心な指導



熱心にテープを巻く森江副会長

◆講演

日本画家・馬場良治氏は今現在、国宝 4 つ・重要文化財 3 つ・県指定文化財 1 つの修復を手掛けておられます。

『私にとつての文化財』と題した講演を行っていただきました。「良いものだけを集めて修理を施しても全体として良いものにはならない。そこには不純物が必要。萩焼などは顔に不純物が出るから良い。」

平安時代の絵描きは時折、左手で描くことがあった。文明



馬場氏による講演

中曹青いずも大会

平成 25 年 11 月 19・20 日にかけて、松江市くにびきメッセ・ホテル白鳥において第 36 回中国曹洞宗青年会いずも大会が開催され、県青年会から 4 名が参加しました。

「弔縁く死をめぐる、それぞれの想い」というテーマが掲げられ、西田敏行氏主演映画「遺体 明日への十日間」の原作「遺体―震災、津波の果てに

」の著者である作家の石井光太氏と葬送専門誌「SOGI」編集長、葬送ジャーナリストの碑文谷創氏の 2 名が講師として招かれました。

◆一日目くにびきメッセ

石井氏には取材を通じて岩手県釜石市の遺体安置所での弔いについて、碑文谷氏には今までの葬儀とこれからの僧侶に求められることについてご講演いただきました。

◆二日目ホテル白鳥

グループディスカッションを行いました。

- ① 戒名はいらない
- ② 家族葬は「あり」か
- ③ 弔縁とはなにか

のそれぞれの議題について 1 テーブル 5・6 人ずつのグループに分かれ、議題毎に人員を入れ替えながら 10 分程度議論を交わし、その内容を発表してもらいました。また碑文谷氏に助言をいただきました。



村上邦明師による発表

が発達した現在であっても、何をもつてバランスが崩れるかはわからない。」  
◆感想  
観音寺 森江裕孝  
文化財の修復にまつわる様々なエピソードを交えながら宗教の大切さを語られていたのが印象的でした。私たちが大切な寺院をお預かりし後代まで引き継いでいくためには、古い文化財が経て来たような長い時間軸とまではいきませんが、長期的な視点で物事をみていく必要性も感じました。

### 戒弟のつどい

平成 25 年 11 月 25 日(月)、禅昌寺様を会場に平成二十五年度戒弟のつどいを行いました。

#### ◆法話

山口市長徳寺ご住職河谷正也老師に法話をしていただきました。

老師は毎年の「戒弟のつどい」を免許の更新に例えられました。

「過去は過ぎていく。未来は来るかわからない。あるのは今だけ。今を生きるには無我になること。一生懸命な時は無我になっている。その姿が仏様である。物事をさせられている時は身についておらず

一瞬を生きていない。目指すのは無我であり、無我が本当の自由。きっちり決まっていることをきっちりこなすのが自由。免許を更新したら実践することが大切。」と説かれました。

#### ◆参加者アンケート

本日は参加させていただき、うれしく思いました。

中々と寺に来る事もすくないのですが、長徳寺様の話を聞き、心が落ち着きました。

色々ななやみを持っていたのですが、少しは心をおちつきました。ありがとうございます。

○女性

毎年の「戒弟の集い」を楽しみにしております。大変有難うございました。平素は授戒を受けたいことを忘れ、自由ほんぽうに、又わがままな生活を送っておりますが、本つどいに参加することで、今日一日、あるいは、今をもっと大切にすごしたいと考えます。

○男性

### 戒弟のつどい差定

9:30	受付開始
10:00	開会式
10:30	坐禅
11:15	法話
12:15	中食
13:15	写経
14:00	略布薩法要
14:15	閉会式



戒弟さんに「誓いの輪」を着けてお別れ



略布薩法要

### シャンティ寮笑顔日記

久屋寺 清木 隆法

私は今回初めてタイ(パヤオ県)にあるシャンティ学生寮を訪問した。シャンティ寮は、村の近くに学校が無く教育を受けにくい環境にある山岳少数民族の子どもたちが、学校に通学するために設立された学生寮で、シャンティ山口と山口県曹洞宗青年会がタイ山岳少数民族教育支援活動として、運営費を支援している。現在、高校生 16 名、中学生 30 名が在籍し共同生活を送っている。

この度の訪問は、シャンティ山口から 7 名、青年会から 2 名、9 名の一行が寮に到着したのは午後 7 時半。多くの寮生が笑顔と合掌で出迎えてくれた。男の子は私たちの荷物を部屋へ運び入れ、女の子は夕食の準備を始めた。通常、寮生の夕食は 6 時半。私たちの到着を待っていてくれたのだ。日頃はご飯とおかず一品程度の質素な食事



歓迎会

だが、来客時は品数も増え、お肉も食べられるとあって、寮生たちは終始笑顔で嬉しそうに食事をとっていた。

食事が終わると歓迎会を開いてくれた。民族の踊りや手作りのプレゼント、「皆さんの支援に心から感謝している」とお礼の言葉もいただいた。私たちからは、支援金の目録と今年度卒業を迎える中学生（8名）高校生（1名）に記念品、寮生全員に折鶴を贈った。言葉を交わす時間は僅かではあったが、寮生たちの歓迎と感謝の気持ちは自然と伝わってきた。そして、何よ

りも寮生たちの笑顔に会えたことを嬉しく思った。同行していただいたSVAの八木沢氏が「支援活動は三者が笑顔でなければならぬ。支援を受ける人、支援を繋ぐ人（スタッフ）、支援をする人。」とおっしゃっていた。皆が笑顔で過ごした時間、この活動を立ち上げ継続してこられた先人方の大きな功績を実感した時間でもあった。

寮生たちは、勉強に励みながら農業も行い、作物の販売もしながら、ほぼ自給自足の生活をしている。お米も採れた新米を市場で売り、自分たちは古米を買い、その差額も生活費に充てている。食事の調理と買物は当番が行う。早朝4時、当番が市場へ買物に行くので同行した。1人の男の子が荷車を押し、女の子2人がその後を歩く。吐く息は白く辺りはまだ暗いが、眠そうな顔もせず足早に市場に向かう。その後姿からは生活をしていく力強さと責任感の強さを感じる。市場に着く

と女の子は店を回り、買った品を男の子が受取り荷車へ運ぶ。これを幾度か繰り返した。買物が終わると、女の子が私たちにワッフルを手渡してニッコリと笑った。買物当番へのご褒美なのか？でも彼女たちは食べる様子がない。私たちのために買ってくれたのか？貴重な生活費から思うと食べるのがもったいないほどだったが、有り難くワッフルのワッフルを美味しくいただいた。寮に帰る道中、寮生とその家族のことをふと考えた。離れて暮らす互いの寂しさ、離れても子どもに教育を受けさせてあげたいという親心。私も高校から寮生活を送ったが、今は三

児の親。親の立場で考えてしまいう。シャンティ寮訪問前に訪れたホイブム村には、小学生から親元を離れ学校に通っている子がいると聞いた。私にも小学生の子がいる。いろんな思いが交錯した道のりだった。

5時半、起床。体操・掃除・朝食。7時半登校時には洗濯

物も干されていた。寮生が通うのは歩いて10分程のポン・ラチャダビセーク中・高等学校で生徒数は720名。授業風景も見せていただいた。全体的に和やかに授業が行われ、教室の前の芝生で本を読んでいるクラスもあった。寮生に出会おうと笑顔で手を振ってくれ、楽しそうに勉強する姿があった。

最後まで素敵な笑顔くれた寮生たち。その笑顔は、寮生活で育まれた強さと優しさから生まれた笑顔。この笑顔に会えたことをあらためて嬉しく思った。寮生がそれぞれ卒業を迎え、親子が対面するその日を想い浮かべながらシャンティ寮訪問を終えた。

寮生の日

- 5:30 起床・体操
- 6:00 掃除・当番の仕事
- 7:00 朝食
- 7:30 登校
- 16:00 下校
- 16:30 農作業・当番の仕事
- 17:30 運動時間
- 18:30 夕食
- 20:00 勉強時間
- 22:00 就寝



寮生と記念撮影



学校



夕食



農作業

●タイ山岳民族教育支援  
クラフト販売状況●

クラフト	41,000円	クラフト	16,600円	クラフト	17,200円	クラフト	48,000円	クラフト	9,300円
募金	2,115円	クラフト	14,100円	クラフト	2,700円	クラフト	1,210円	クラフト	1,210円
11/25 戒弟のつどい	600円	募金	500円	クラフト	1,000円	クラフト	2,090円	募金	210円
クラフト	500円	10/4 梅花特派(5教区)	500円	10/4 梅花特派(9教区)	700円	10/1 梅花特派(1教区)	600円	9/30 梅花特派(8教区)	300円
その他	500円	クラフト	3,500円	クラフト	1,000円	クラフト	600円	クラフト	300円
		募金	600円	クラフト	1,000円	クラフト	600円	募金	210円
		10/19 広沢寺大祭	600円	クラフト	1,000円	クラフト	600円	10/1 梅花特派(7教区)	700円

日めくりカレンダー  
駆け出し和尚のなごみ曆

タイ山岳少数民族教育支援  
活動の一環として、青年会正会  
員で作製しました。  
1,500円で販売する予定  
です。



題字:常安寺 池田亮一老師

○編集後記

写真は毎回相当力入れて撮影・吟  
味しております。是非HPからカラ  
ー版をご覧頂きたく存じます。

【お問い合わせ】

山口県曹洞宗青年会事務局  
玖珂郡和木町和木 1-6-18  
安禅寺内 村上邦明  
電話 0827-53-4334